

参 考 资 料

■熊本駅新ビル



熊本駅ビルと周辺開発構想のイメージ図



開発計画の概要

- 《敷地面積》 約7万㎡
- 《計画施設》 駅ビル（14階建て）、商業施設（高架下）
立体駐車場（3ヶ所計2,100台）
分譲・賃貸・高齢者向けマンション等
- 《駅ビル概要》延床面積 約11万㎡
 - 1～7階 商業施設
 - 8～14階 ホテル（約200室）
 - 8階 会議室、宴会場
 - 9階 複合映画館（シネコン）
 - 1～8階 立体庭園
- 《スケジュール》平成31年春着工、平成33年春開業予定

外観イメージ図



内観イメージ図



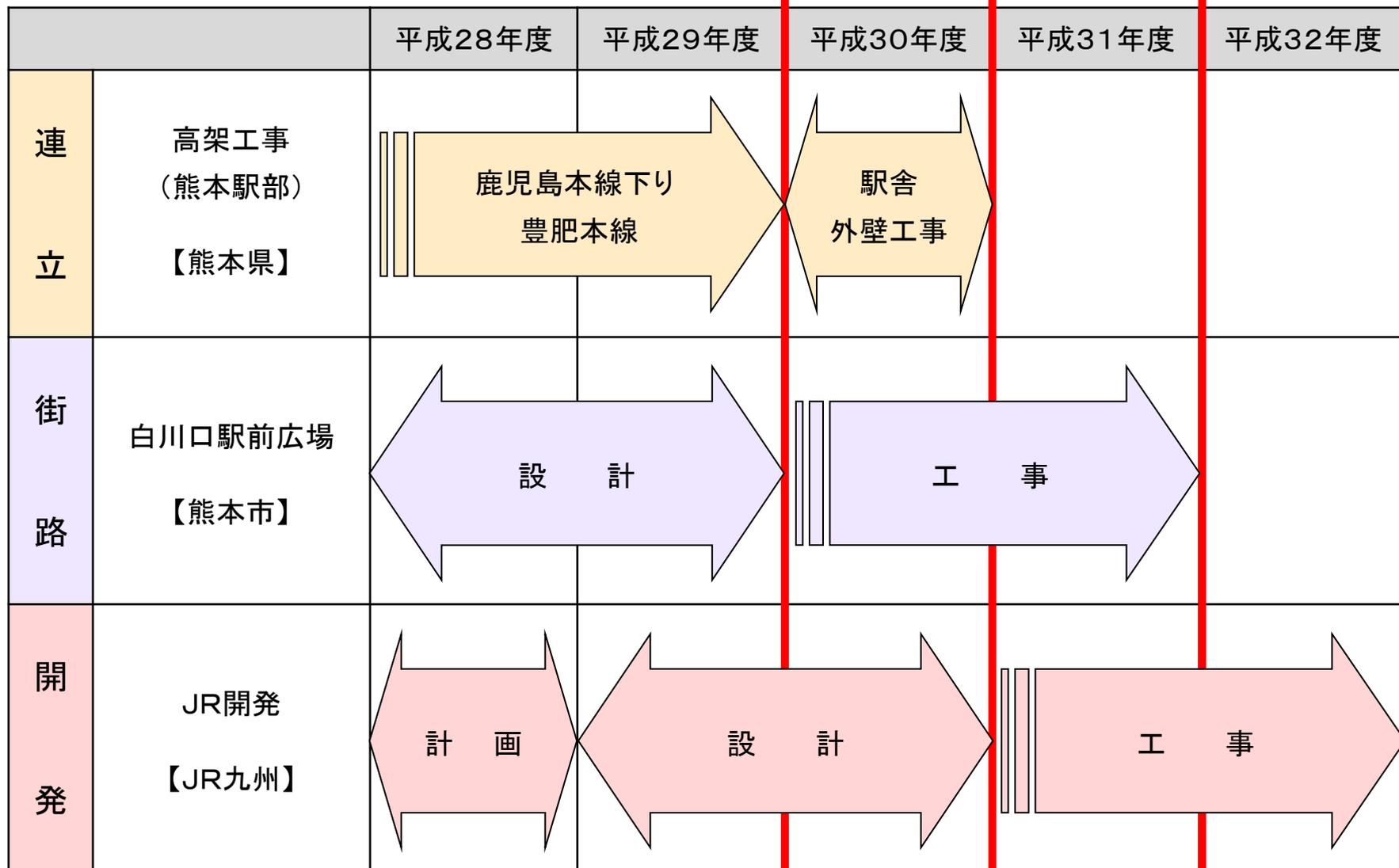


■熊本駅周辺整備スケジュール

連立事業完成

駅部高架切替

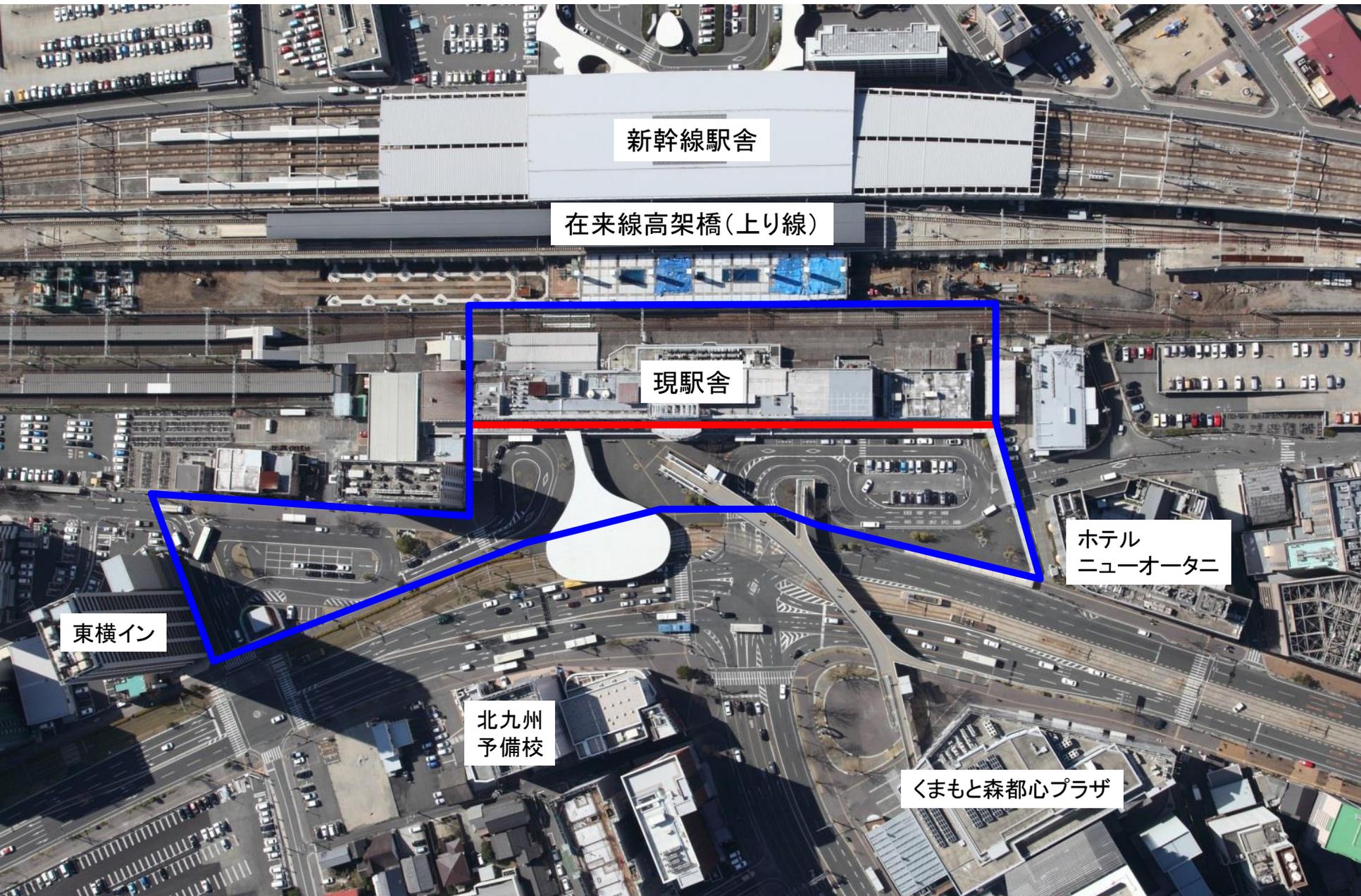
駅広完成(目標)



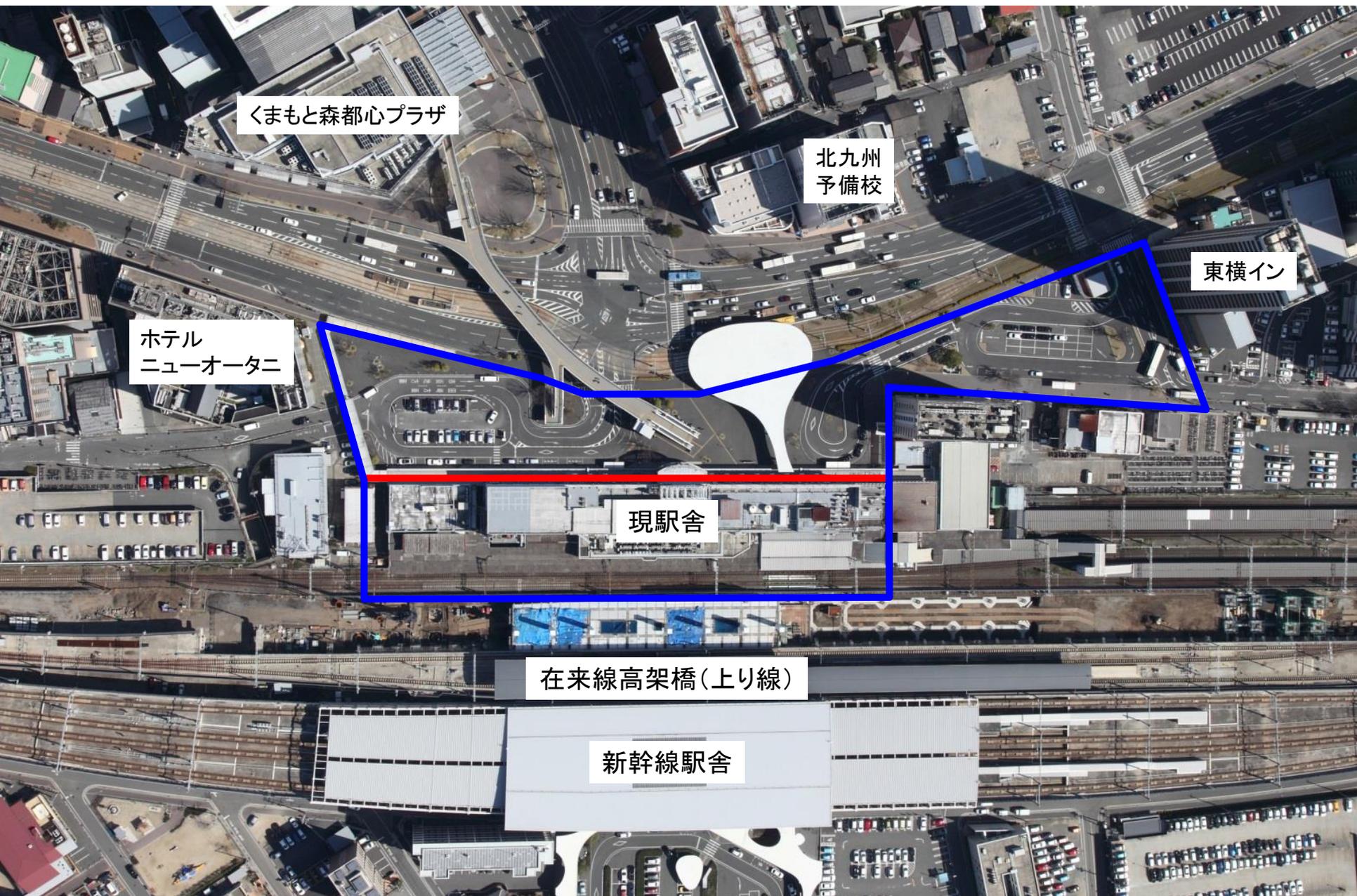
■熊本駅周辺地域の現況(H28.3 航空写真)



■熊本駅白川口(東口)駅前広場の現況(H28.3 航空写真)



■熊本駅白川口(東口)駅前広場の現況(H28.3 航空写真)



■ 在来線新熊本駅舎（連続立体交差事業）

外観



ホーム



コンコース



※このパースはイメージであり、
実際とは異なる場合があります。

■JR鹿児島本線等連続立体交差事業【熊本県】

JR鹿児島本線等連続立体交差事業進捗状況

位置図



上熊本駅 平成 27 年 3 月 供用開始
平成 27 年 2 月 撮影

(1)~(2) 平成 27 年 3 月 供用開始
一般部 (上り線・下り線) 約 4 km

(2)~(3) 平成 29 年度末 供用開始
熊本駅部 (下り線) 約 2 km

現駅ビル撤去

③熊本駅舎 (外壁)

豊肥本線	(平成 27 年 3 月・供用開始)	(平成 29 年度末・供用開始)	②豊肥本線 約 1 km
鹿児島本線	①一般部 (下り線) 約 4 km	②熊本駅部 (下り線) 約 2 km	
	①一般部 (上り線) 約 4 km	①熊本駅部 (上り線) 約 2 km	

施工状況



年度	平成 13 ~ 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
工程の見通し		①一般部(上り線・下り線)工事 熊本駅部(上り線)工事		①供用 一般部上下線・上熊本駅完成 熊本駅部(上り線)	②熊本駅部(下り線)工事 熊本駅部(豊肥本線)工事		②供用 熊本駅部(下り線) 熊本駅部(豊肥本線)	③完成 熊本駅外壁・武者返し

■JR鹿児島本線等連続立体交差事業【熊本県】

熊本駅部現場状況



熊本駅新ビル



熊本駅ビルの構想に盛り込まれた「水と緑の立体庭園」のイメージ図
(JR九州提供)

熊本駅新ビル

JR九州は12日、熊本駅周辺の開発構想を熊本に説明した。2021年の開業を目指す新しい駅ビルは、ガラス張りの内部に滝や樹木が重層的に連なる「水と緑の立体庭園」を整備する構想。基本設計や建設条件の緩和に向けた市との協議へ本格的に動きだす。【3面関連記事】

18年春に工事が完了する在来線の高架下を設け、同市西区の駅周辺約7万平方メートルを開発する。駅ビルは、14階建て延べ床面積約11万平方メートルで、博多駅に次ぐ規模となる。19年春の着工予定。

JR九州 熊本市に説明

構想によると、ビルには、1〜7階に商業施設、8〜14階に約200室のホテルが入るほか、8階に会議室や宴会場、9階に複合映画館（シネコン）を開発する。立体庭園は、1〜8階を使った大掛かりな設備で、小国町の銅ヶ滝などをイメージし、滝を段階的に複数作り、周囲を樹木などで覆う。熊本の玄関口の象徴と位置付け、市民や観光客の憩いの場やイベントに利用する。

ビル開業には、駅周辺に分譲と賃貸、高齢者向けのマンション4棟を建設する。立

「水と緑の立体庭園」構想

「なぜ「水」と「緑」がテーマですか。青柳社長 熊本を象徴するもので、日本にはない、ワクワクするような空間の構想ができた。滝はいろんなパターンを造る。プロジェクションマッピングやイベントで使う（LED）をイメージしている。」

かなり大掛かりな開発の印象です。青柳社長 新幹線の乗客数の増え方をみても、熊本は大事にしていかなければならない地域。鉄道にとっても商業施設にとっても大きなマーケットだ。

構想の感想は。大西市長 非常に斬新なイメージで期待感を持っている。熊本、九州中央の陸の玄関口として立派な駅にするため、駅前の広場空間も含めて一体的に整備していかなければならない。

建設要件の緩和に向けた商業地域への用途変更の協議にはどう臨みますか。

JR九州の青柳俊彦社長は12日、熊本市の大西一史市長に「水と緑の立体庭園」を整備する新駅ビルなどの開発構想を説明した。市役所で取材に応じた2人は熊本の拠点性向上などの意義を強調した。

【1面参照】

熊本駅新ビル・一問一答

拠点性向上に期待／大きなマーケット

大西熊本市市長

青柳JR九州社長



熊本駅ビルと周辺開発構想のイメージ図

■は駅ビル内の施設

大西市長 九州で2番目の規模という駅ビルの概要が分かった。熊本の拠点性を高める意味でも、非常に大きいので、用途変更には柔軟に対応する。前向きに、スピードを以て判断したい。

中心市街地への影響



新しい熊本駅ビルの外観イメージ図（JR九州提供）

をどう考えますか。かねばならない。青柳社長 ほかの駅ビル開発でも、地元との連携は図ってきた。大分は「まちな色」があり、相乗効果が出てくると思う。公共交通などで、きちんと携わりたい。

（平井智子）